

6 - 7 兵庫県猪名川町の群発地震について

On the swarm at Inagawa Town, Hyogo Prefecture

京都大学防災研究所

地震予知研究センター阿武山観測所

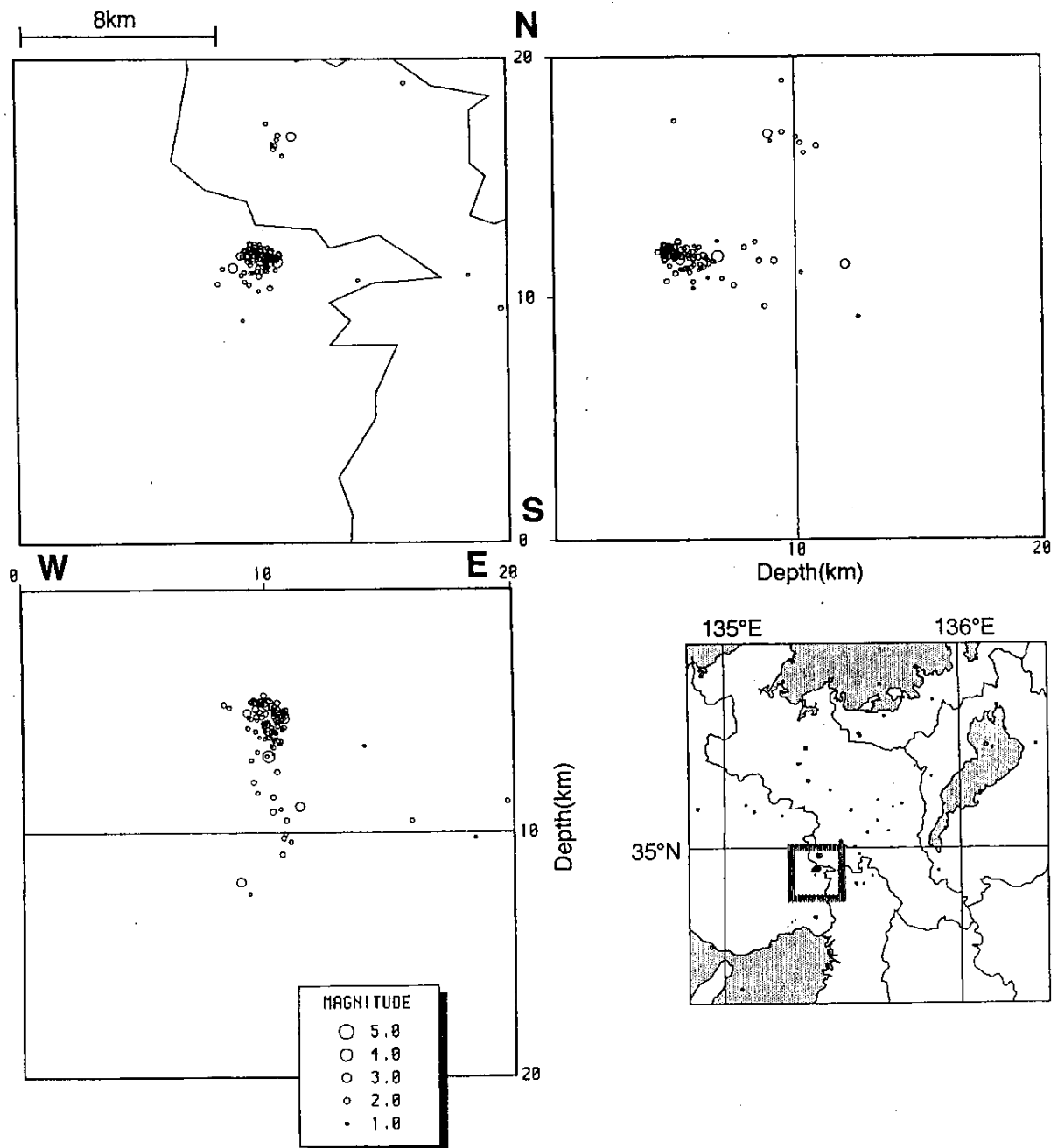
Disaster Prerention Research Institute, Kyoto University

1994年11月9日20時26分、大阪府兵庫県境に近い兵庫県猪名川町(北緯34.925度、東経135.392度、深さ6.9kmでM4.0(気象庁発表)の地震が発生した直後から、同地域で群発地震活動が始まった。10日0時38分には再びM4.0が発生するなど、地震数は12月6日までに自動震源決定されたものだけでも約100個を数える。震源はさしわたし約2kmの狭い領域に集中している(第1図)。震源が約5kmと浅いため、猪名川町や大阪府能勢町などではかなりの数の有感がある。この活動は、休止期間をはさみながら断続的に続いていることが特徴的である。休止期間は活動初期の1~2日程度であったものが1週間程度に延びてきている。地震数および地震の規模は減少してきているが、今後の動向が注目される(第2図)。

今回の震源域の近傍では、1994年7月下旬にM3.6およびM3.5の有感地震を含む小群発が起きている。11月の活動域より南西に約2kmの離れた場所で、深さは10kmであった。また、8月中旬には東北に約6km離れた場所で、深さは11km付近で微小地震の小群発がみられている。10月24日には東北方約10kmの京都大阪府境地域でM4.3の地震が起きたばかりであった。

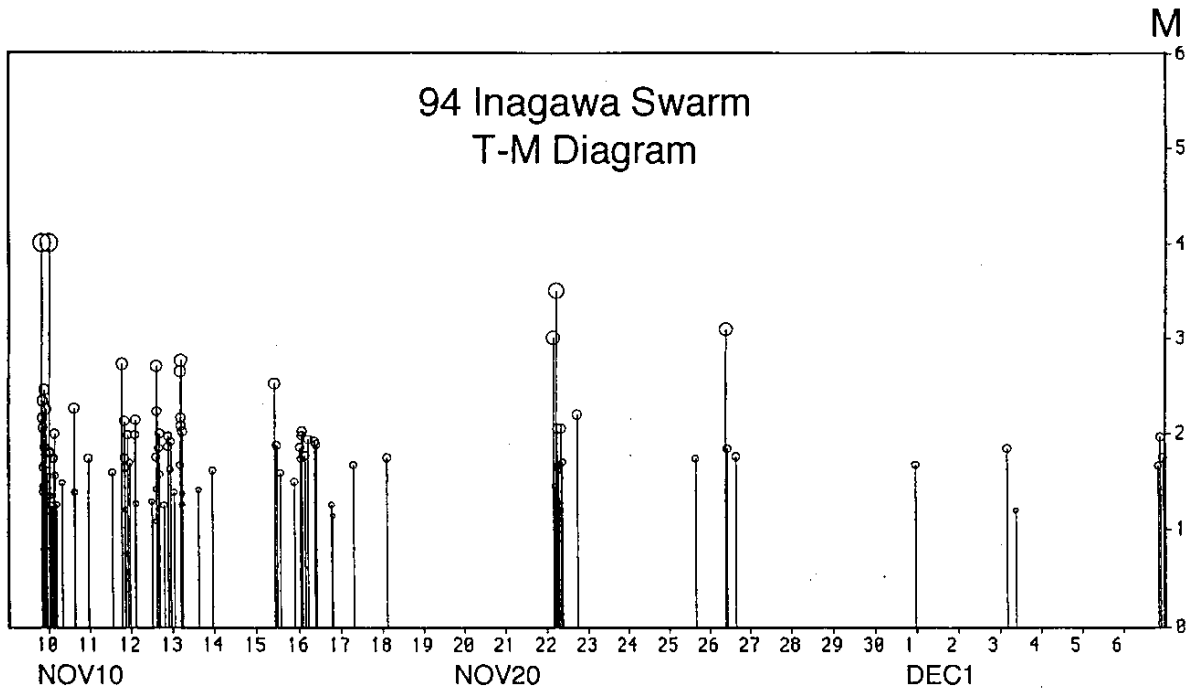
第3図に1994年1月からの近畿地方中部の地震活動の時空間分布を示す。(9月以前の震源は京大阿武山観測所微小地震観測網の再検測データ、9月以降は同じく自動処理データによる)。

(片尾 浩)



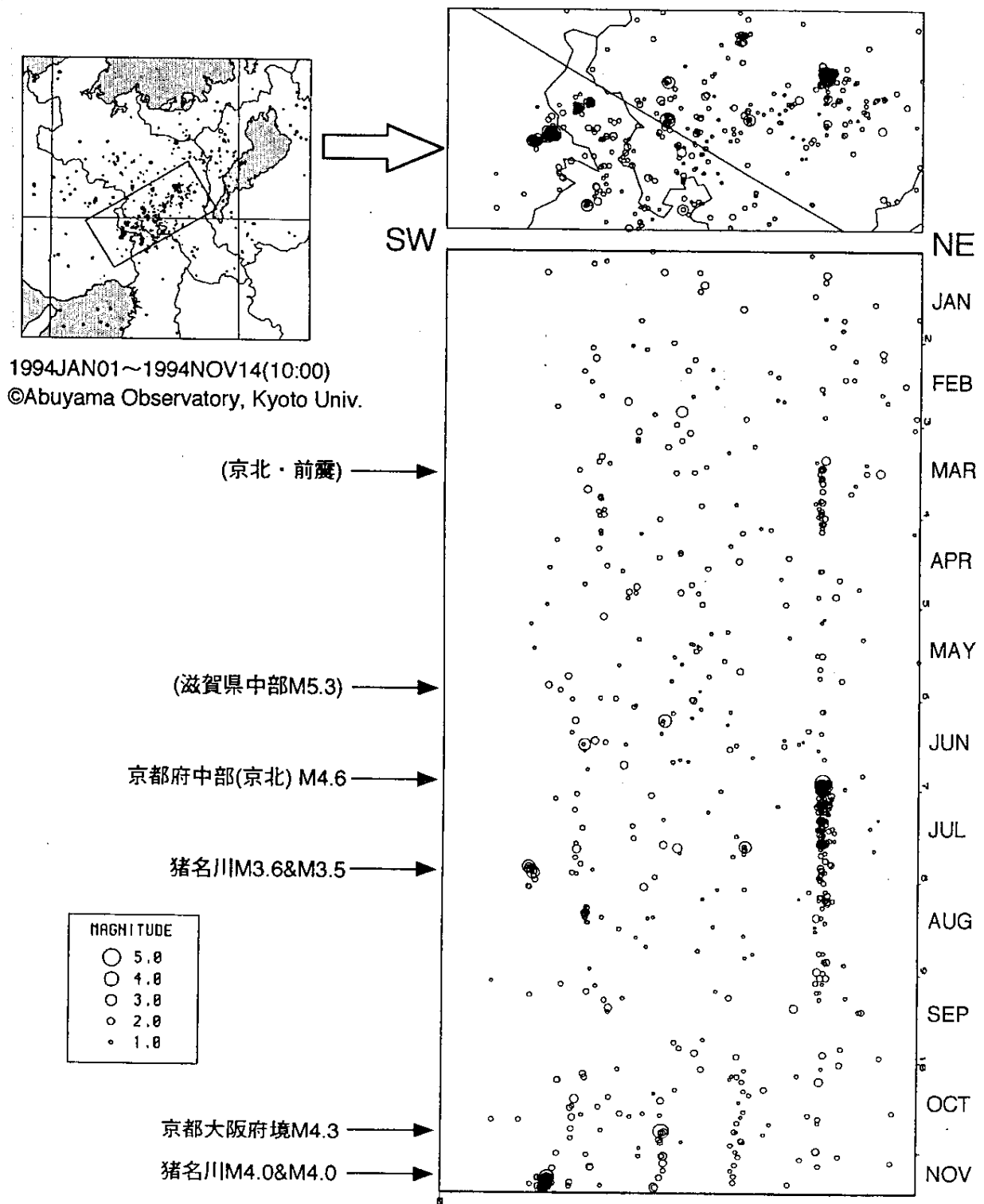
第1図 震央分布(中左), 南北断面上の震源分布(中右), 東西断面上の震源分布(下), (1994年11月9日~12月6日), 右下の広域図の矩形範囲内。

Fig. 1 Epicenter distributions and vertical sections (Nov. 9, 1994-Dec. 6, 1994).



第2図 第1図と同じ範囲内でのM - T図 (1994年11月9日~12月6日)

Fig. 2 M-T diagram (Nov. 9, 1994-Dec. 6, 1994).



第3図 近畿地方中部の地震活動 (1994年1月1日~11月14日)

Fig. 3 Seismicity in Middle Kinki District (Jan. 1, 1994-Nov. 14, 1994).